

多宝会新聞

発行所
 社会福祉法人多宝会
 本部併設立派会
 福島市本町4-23
 024-522-6611
 mail
 honbu@
 tahokai.jp

第84回評議員会 第100回理事会を開催

役員並びに管理職の人事を承認 躍進のスタートへ



と「人材確保の促進をめざす」と、するもので、経営組織の在り方の見直し、事業運営の透明性の向上、財務

春の訪れを感じさせる3月13日、まちなか宝生園・こころホールを会場に、第84回評議員会、第100回理事会を相次いで開催、新年度に向けた審議が行われ、意義を留める会合となった。

の言葉が述べられた。引き続き会議に移り議案に対する審議が進められた。この度の会議は、昨年3月に成立し、本年4月に施行された「改正社会福祉法」に基づく対応等について議案が提出された。改正法の中核となるのは、社会と遊離しない組織の在り方を示し、「社会福祉法人制度の改革」



- 役員人事**
 (敬称略)
 新たに理事に選任された方
- 専務理事 阿久津 政広
 - 理事 安西 直美
 - 齋藤 圭太
 - 内山 加奈子

攻めの新体制で信頼を構築

務規律の強化、地域における公益的な取り組みを実施する責務の規定、等が求められ、併せて、介護人材確保に向けた取り組みの拡大等が示されている。会議では、改正法に基づく定款の変更、並びに、新たな制度の設計と役員を選任を行い、一段と職務に精励できる人事を行った、他のいずれの案件についても慎重に審議を行い、提案の通り異議なく承認された。なお、発表となった人事は左記の通り。

評議員選考委員会を開催し 評議員を選任

去る3月14日、まちなか宝生園・こころホールを会場に、左記の委員による評議員選考委員会が開催され、評議員として9名の方々が推薦された。

- 評議員選考委員**
 (敬称略)
- 阿部 保則
 - 若松 謙雅
 - 佐々木 政治
 - 母袋 笙子
 - 千葉 美智子
 - 内山 加奈子
 - 山本 龍也

新たな評議員の皆様

- (敬称略)
- 河原 キクエ
 - 山際 陽子
 - 小原 敬子
 - 樋口 康子
 - 加藤 宗晴
 - 伊藤 達也
 - 阿部 国敏
 - 末永 幸正
 - 伊藤 伸一

平成29年度 新入職員へ辞令交付式を挙行



念と人を支える大切な、仕事に取組む姿勢等について話しがあった。引き続き、新入職員と配属先について紹介があり、加藤専之理事長から一人一人に辞令が交付された。9名を代表して決意とともに一線へ

苦情解決第三者委員会が開催される



平成28年度の第二回目となる苦情解決第三者委員会が、去る、2月16日、まちなか宝生園・こころホールを会場に開かれた。石本裕人事務局長(2月現在)の挨拶に続き出席者の紹介があり、第三者委員の阿部保則、遠藤節子、小原敬子、樋口康子の各委員の皆様が紹介された。全体の受付件数は7件で、いずれも苦情の申し立てはなされた。阿部委員からは「日向ぼっこは



温かく気持ちがよい。スタッフはお日様の役目を担える人でありたい」遠藤委員は「より良い関係を築くには言葉が大切。常の心がけを」小原委員は「セルフネグレストの問題がある。拒否を見極め、受け止める事が大事」樋口委員からは「スマスマセンの一言や、下手に出る対応の難しさを感じる。丁寧に」など、事例を踏まえながら貴重なご意見をいただき、意義ある会合となった。



立花社長(右)からチョコレートの贈呈

チョコのプレゼント

ホワイトデーを待っていつかのようには、ベルギー産の本格的なチョココレートのプレゼントが届いた。この思いがけないプレゼントは、市内で印刷を中心に業務を展開されている「株式会社山川印刷所」様のご縁により、東京に拠点を置くチョコ

新年度に採用された新入職員への辞令交付式が4月3日、関係各位の出席のもと、まちなか宝生園・こころホールを会場に挙行された。採用されたのは、いずれも福祉・介護職に高い志を持った新進気鋭の9名の皆様で、大きな期待を持って迎えられた。式では加藤専之理事長より歓迎の挨拶があり、さらに、法人の理

「厚志をいただきました」
 渡邊 憲一様
 阿部 保則様
 鈴木 和彦様

この度はご寄附を賜り誠に有難うございました。大切に使用させていただきます。

コレートの輸入販売を手掛ける「ダスカジャパングループ」様のご厚意によりいただいた。その数も300セット。甘い甘いプレゼントは早速、ご利用者の皆様へ!

東アジア、特に北朝鮮を取り巻く情勢に緊張感が走っている。様々なマスメディアからも、その情報が絶えることがない。20世紀は戦争の世紀とも形容され、新しい世紀を迎える21世紀は、平和の世紀としての期待は大きかった。その期待を踏みにじる様に世界の各地には武力の衝突、覇権の争い、ホビュリズムの台頭等、混乱が渦巻いている。これほどの世界を誰が想像したのだろうか。

▼大阪大学の猪木武徳名誉教授は「歴史に学ぶとは、戦争はいかに起こるのか」(4/23付読売・地球を読む)でこう述べる『学校の歴史の授業では、「なぜ」戦争が起こったのかに触れて、邪悪な独裁者の意図とその結果責任について解説することが多い。開戦へと至る複雑な国際関係や偶然性などについて思いを凝らすことはなく、わかりやすい善玉・悪玉論によって戦争の勃発と振興を説明するのだ。しかし、我々はこうした単純な歴史観を離れ、戦争に関してさらに広く、深く学ばなければならない』と訴え、『最近の朝鮮半島の緊張を考える時、戦争はいかに始まったのかという歴史を見る目が必要とされる。日清戦争も日露戦争も、その本質は朝鮮半島をめぐる戦争であった。朝鮮半島をめぐる対立の性格は、もちろん時代によって異なる。しかし、多くの国々を巻き込む複雑な構造を持っていくことは変わっていない』と、言う。その、巻き込まれる多くの国の一つは、紛れもなくこの日本である。



多宝会のロゴマークは漢字の心の文字をデザインしました。人としての振る舞いは心の働きによることからその在り方こそが大切であると考えています。黄は幸仕、青は信頼、赤は勇気を表しています。

施設の話題をいち早くお届けする 多宝会ホットライン

多宝会の基本理念は「日々心・日々信・日々新」を掲げています。誠実な心と行動によって信頼が築かれ、安心の日々をお過ごしいただけると考えています。スタッフ一同、明るく、優しく、朗らかに、一日一日を大切に、人と地域を元気にしたいと思っています。

土湯宝生園

共同募金のご支援で快適なエアコンに改修

土湯宝生園は、開設から19年を数えます。館内の設備も更新の時期を迎えているものも少なくありません。そのような中、空調設備の不具合が発生し使えなくなりました。何とか使えるように出来ないか、と検討しましたが設備が旧く部品もないことから断念せざるを得ませんでした。改修には多額の費用が必要なことから福島県共同募金会様に配分金によるご支援をお願いしていた所、交付の決定をいただき空調設備の改修をすることが出来ました。昨年末からの工事で、冬期間は間に合わず暖房器具を総動員し何とか乗り切りました。おかげ様で今年の夏は快適に過ごせそうです。有難うございました。



防災訓練で「屋内消火栓」の使用を学ぶ

2月23日、防災委員会の主催で屋内消火栓の使用について学びました。いざという時の初期消火は重要なことから改めて訓練を行い、真剣に取り組んでいました。



土湯宝生園 季節の風景



ケアハウスの新年会



デイの節分行事



デイの初詣



ケアハウスの節分



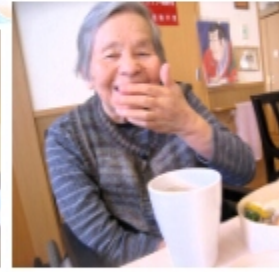
宝子のつばき

またまた、小学生の女の子が誘拐され尊い命が奪われました。痛ましい事件で言葉もありません。連日、ニュースとして報道されますが、容疑者の身分があまりにも身近で、しかも、父兄会の会長まで務めていたとのニュースには衝撃を受けました。容疑者にも家族があり、二人の子どもは被害者と同じ小学校だと言います、やり切れません。

宝寿木村屋

美味しい弁当づくりで盛り上がり

調理レクで昔懐かしの弁当作りを行いました。「昔はよく作ったもんだ・・・」などと会話も弾んで、それぞれの思いがこもったオリジナルのお弁当となりました。出来上がったお弁当を職員もおすそ分けしていただき、昔懐かしの味を楽しませていただきました。



童心に帰っての節分会

季節の行事の楽しみ方もいろいろですが、節分は何と言っても豆を撒くことですかね？ エイヤ〜と、こぞとばかりに投げつける方、はたまた、可哀そう・・・と、優しく投げる方、それぞれに個性がありますね〜 食事はもちろん、恵方巻きをいただきました。



アリヴァーレ宝生園

新年の風景 いろいろ・・・

新しい年を迎え、新年を寿ぐ催しが行われました。その中でも、餅つきは最高のイベントですね、皆さん、張り切ってのご参加です。



アリヴァーレ宝生園の新年会は、二十日正月で祝いました。石本裕人施設長（1月現在）が、ご利用者の皆様一人一人に、この一年の健康長寿と無病息災を願いながら、見事な獅子舞を演じました。



車椅子のデモンストレーション

アリヴァーレ宝生園の生活支援課会議では、現場に活かそうと車椅子の最新の使用方法について学びました。職員同士で使用感覚を確かめたり、安全安心の操作状況等についても確認を行いました。



まちなか宝生園

新しい年を迎えて・・・



デイサービスでは、折々のスナップ写真約6000枚から厳選し、スライドショーにして上映しました。たくさんの思い出がギッシリと詰まっています、自分が映ると「アッ！たよ！いたよ」と画面にくぎ付けになり「こんな事もやったんだね、またやりたいね〜」と、懐かしんでいました。

季節の便り あれこれ・・・

新年を迎えての行事はワクワク感もあり、楽しみも数多くあります。2月は、何と言っても節分とバレンタインデーでしょう。デイの節分は、知る人ぞ知るプロレスラー蝶野正洋の入場曲とともに鬼の登場となりました。今年の鬼は、昨年ボコボコにされた苦い教訓から、豆をよける楯を準備、しかし、いざ始まると手加減なしの「福わー内、鬼わー外」の豆の嵐、たまたま退散する鬼を追いかけたの怒涛の猛攻、いやはや、お元気なことで



バレンタインチョコかけドーナツ



たこ焼き器を使い一口サイズのチョコかけドーナツを作りました。ワイワイしながらクルクルひっくり返すのは実に楽しいもんです。もちろん美味しいですよ。

介護サービスやご利用についてのご相談は各事業所までお気軽にどうぞ、施設見学も随時お受けしています。

土湯宝生園	024-594-5900	西部地域包括支援センター	024-594-5800
アリヴァーレ宝生園	024-594-0061	土湯宝生園指定居宅介護支援事業所	024-594-5902
ほのほの宝生園	024-594-0063	生きがい支援湯ったりデイサービス	024-594-5900
まちなか宝生園	024-521-1122	多宝会本部事務局	024-522-6611
宝寿木村屋	024-594-5122	URL http://www.tahokai.jp	